

2026年度

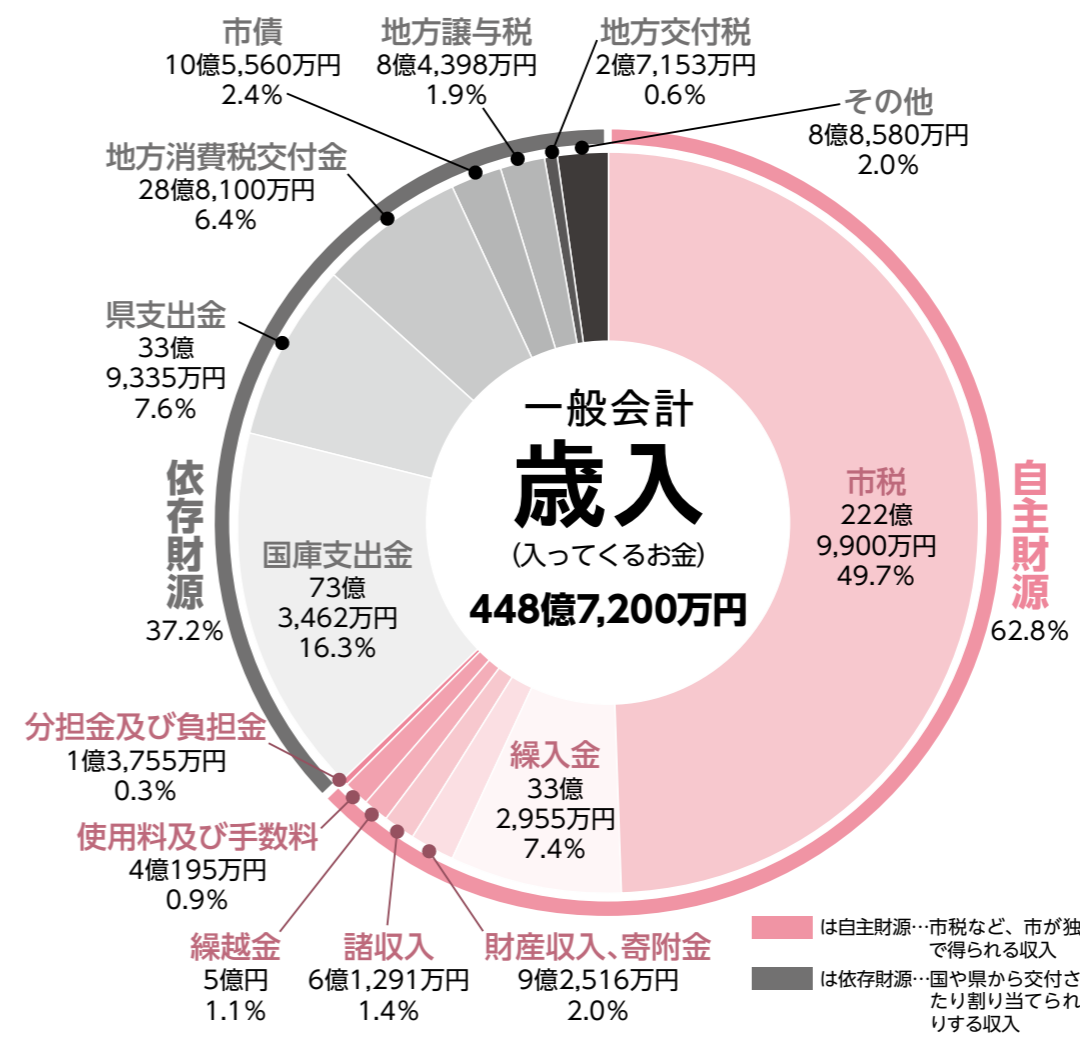
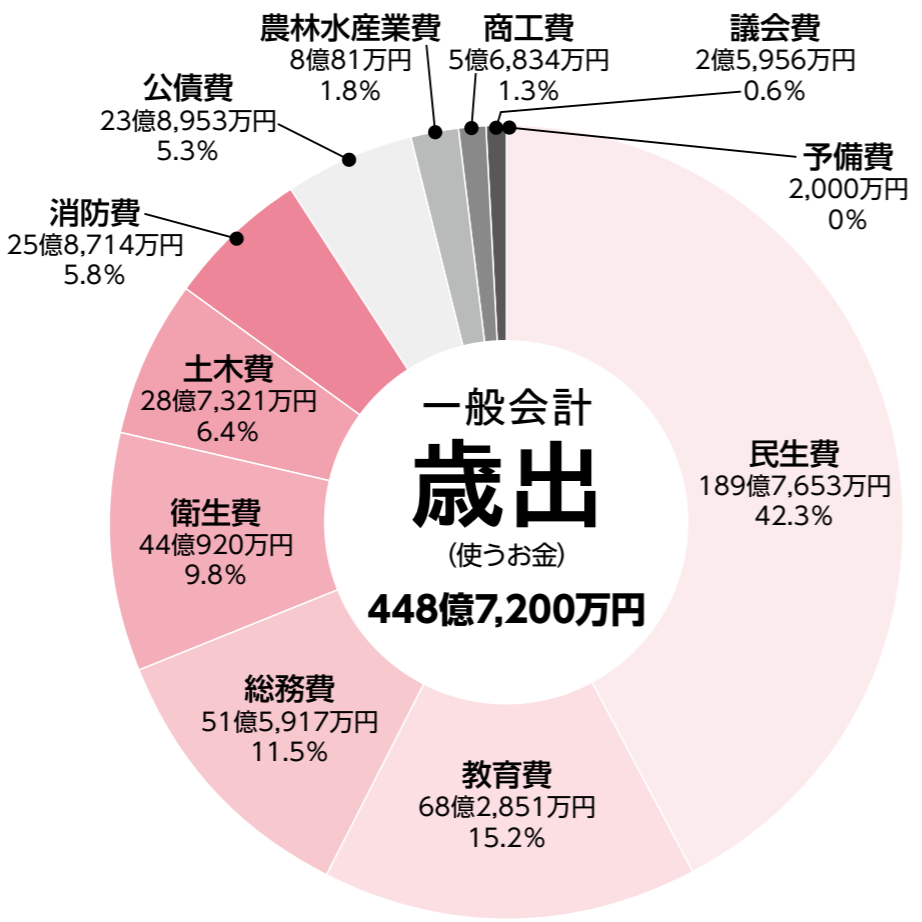
神栖市予算

総額697億1,067万円 (前年度比0.4%減)

※一般会計・特別会計・公営企業会計の合計

用語の解説

- 歳入**
 - 市税** 個人や企業の皆さんに納めていただく税金など
 - 繰入金** 特定の目的のために積み立てているお金を取り崩して使うお金
 - 市債** 建設事業などをおこなう際に、国や県、金融機関などから借りるお金
 - 国庫支出金** 特定の事業の財源として、国から交付されるお金
 - 地方交付税** 市町村の財源不足や自然災害による被害などの個別・緊急の事情に応じて交付されるお金
- 歳出**
 - 民生費** 高齢者・障害者・児童などの福祉関係に使うお金
 - 教育費** 教育や文化・スポーツの振興に使うお金
 - 衛生費** 保健・衛生やごみ処理などに使うお金
 - 総務費** 行政の運営などに使うお金
 - 土木費** 公園や道路など、公共施設の整備に使うお金
 - 消防費** 消防や救助活動に使うお金
 - 公債費** 市債を返すために使うお金



市民1人あたりの一般会計予算額

個人や企業が市に納める税金と市の使う予算を、1世帯・1人あたりになると次のようになります。

1人あたり	
税金(市税/人口)	24万円
予算(総額/人口)	48万円
1世帯あたり	
税金(市税/世帯数)	49万円
予算(総額/世帯数)	99万円

※税金で市に入ってくるお金と使われる予算額の差は、国・県の支出金や市債などでまかなわれます

世帯数 45,120戸
人口 92,985人
2026年3月末日現在
住民基本台帳から

会計名	2026年度	2025年度	比較		
	当初予算額	当初予算額	増減額	増減率(%)	
一般会計	448億7,200万円	447億4,213万円	1億2,987万円	0.3	
特別会計	国民健康保険	96億7,974万円	97億4,375万円	△6,401万円	△0.7
	介護保険	61億9,445万円	60億9,090万円	1億355万円	1.7
	後期高齢者医療	14億7,153万円	12億4,861万円	2億2,292万円	17.9
小計	173億4,572万円	170億8,326万円	2億6,246万円	1.5	
公営企業会計	水道事業会計	40億9,521万円	48億2,253万円	△7億2,732万円	△15.1
	下水道事業会計	33億9,774万円	33億6,203万円	3,571万円	1.1
	小計	74億9,295万円	81億8,456万円	△6億9,161万円	△8.5
合計	697億1,067万円	700億995万円	△2億9,928万円	△0.4	

2026年度当初予算は、全会計の合計額が前年度当初に比べ2億9,928万円の減となりました。一般会計は、民生費や公債費などの増により前年度比で1億2,987万円の増となりました。特別会計は、後期高齢者医療特別会計における被保険者の増加などによる、後期高齢者医療保険料の増などにより特別会計全体で前年度に比べ2億6,246万円の増となりました。公営企業会計は、水道事業会計では配水施設整備費を2025年度に前倒しで計上したため配水施設整備費などが減となり、下水道事業会計では管渠整備費およびポンプ場整備費などが増となりましたが、公営企業会計全体では6億9,161万円の減となりました。

※公営企業会計：支出額を表示しています
※四捨五入をし、万円単位で表示しています

「2026年度予算のポイント」

- 市民の皆さんが安全・安心に医療を受けられるよう、新たに開業時の高度医療機器の購入を支援することで、新規診療所の誘致を図ります
- 将来、市内の医療機関で地域医療に貢献する意思のある鹿島医師会、市内救急告示病院を通じて修学資金などを支援します
- 加齢に伴う難聴を抱える高齢者に対して、社会参加の促進や認知症予防に資するため、新たに、高齢者の補聴器購入にかかる費用の一部について助成をおこないます
- 合葬墓の整備については、市民の皆さんのニーズにお応えできるよう、段階的に増設していく新たな計画へ見直しを図り、より良い墓地環境の整備を進めていきます
- 熱中症予防と災害時における避難所としての機能強化を目的に、中学校8校の体育館に空調機を設置します
- 行財政改革の一環として、ネーミングライツ制度の導入を進め、新たな歳入の確保と施設の安定した運営や市民サービスの維持・向上を図ります

神栖市長
木内 敏之

少子高齢化、人口減少が進むなかでも、市民サービスを将来にわたり維持し、持続可能なまちづくりをおこなっていくために「神栖市緊急行財政再建宣言」を1月30日に発出しました。

このような状況のなか、2026年度予算は社会の変化および市民ニーズを的確に捉えるとともに、最小の経費で最大の効果が得られるよう、事業全般にわたり経費の削減・合理化に取り組みながら予算編成をおこないました。

市民の皆さんと市議会の皆さんのご協力をいただきながら、国・県と神栖市が一体となって「豊かで活力みなぎる神栖市」を目指し、市民の安全・安心の確保と神栖市のさらなる発展に向け、全力で市政運営に取り組んでいきます。